

次世代の複合素材形成に対応した装置を開発し、 ナショナルコンポジットセンターへ納入！

～ポリマーエンジニアリング株式会社～

ポリウレタン用成形装置の製造販売を手掛けるポリマーエンジニアリング株式会社では、名古屋大学に設立された世界的な複合材研究開発拠点「ナショナルコンポジットセンター」からの受注を請け、このほどRTM混合注入機を開発いたしました。

炭素繊維との接着性が高いエポキシ樹脂の2つの液を、同社のRTM注入機にて直前混合し注入することで、より強度の高い新素材CFRP（炭素繊維強化樹脂）の成形を可能としました。



これまでの技術を進化させ、新しい複合材料に対応する装置を完成させました。今後もさらに開発を続けてまいります。（左：執行役員 技術部長 中野義人氏、右：営業グループ課長 加賀裕文氏）

同社は、トヨタ自動車が開発する高級車ブランド・レクサスが限定生産販売したプレミアムスポーツカー「LFA」の開発プロジェクトに参加、車内床面部分に採用された新素材の形成に貢献してきました。この「LFA」での実績が評価され、同センターへの納品が実現したものです。

同社では、これまで培ったポリウレタン成形に関わるノウハウを基に、今後もユーザーの要求に合致した次世代の複合素材開発に貢献していく考えです。



▲開発されたRTM混合注入機

岡崎市大西1-15-10 Tel(0564)23-5532 <http://www.pec-eng.co.jp/>